

	分類	ページ	修正項目	意見	対応案
1	政策会議	P9	【序論】 6. 丹波市を取り巻く社会情勢	(2)協働社会の形成について、「福祉の貧困」という表現がされているが、一般的な言い方ではない。	意見を踏まえ、以下のとおり修正をする。 ●「日本では、高齢化の進展による単身世帯の増加など、市民ニーズの変容に対し、これまでの福祉制度では対応できないことが課題となっており、ともに支えあう社会を築くことが求められています。 また、女性や外国人、障がい者が職場や地域のなかで活躍する場が広がるなど、あらゆる人が、一人ひとりの生き方を認めあい、多様性ある社会が形成されようとしています。」
2	政策会議	P9	【序論】 6. 丹波市を取り巻く社会情勢	(2)協働社会の形成について、女性や外国人、障がい者などあらゆる人が支えあう多様性のある社会の形成について記載されているが、前段である老々介護やヤングケアラーなどの記載と整合性がない。	
3	政策会議	P17	【基本構想】 2. 将来像を実現するための重要視点	P14「10.丹波市の総合的課題」の各項目の並びとの整合性を鑑み、重要視点の「(4)新たな時代への投資・挑戦」と「5. ふるさと丹波市らしさの継承」を入れ替えてはどうか。	意見を踏まえ、以下のとおり修正をする。 ●重要視点(4)、(5)の順序を入れ替える。
4	政策会議	P25	【こども政策】 まちづくりの目標	まちづくりの目標の説明文で「丹波の」→「丹波市の」に修正した方が良いのでは。また、「こどもまんなか社会のまち」→「こどもまんなかのまち」で良いのでは。	意見を踏まえ、以下のとおり修正をする。 ●「すべてのこどもが「学び、成長していくことが楽しい」と体感できるよう、市民が楽しみながら参画・協働し、こどもまんなかのまちをめざす。」
5	政策会議	P25	【こども政策】 まちづくりの目標	まちづくりの目標の説明文で、「未来を担う人づくり」ではなく、こどもまんなか社会とは、今生きるこどもたちこどもたちの目線で社会をとらえ、こどもたちを大切にすることだと認識しており、表現を改める必要がある。	
6	政策会議	P28	【こども政策】 こどもの教育	「5年後のまちの姿」の2つ目で「自分に合った場で安心して学ぶこどもが増えています」について、学校園がこどもたちに合わない場という視点にならないかとの懸念があり修正したい。	意見を踏まえ、学校園を含め、こどもたちが安心して学ぶ環境を整えていくことが重要であることから、以下のとおり修正をする。 ●「自分に合った環境で安心して学ぶこどもが増えています。」
7	政策会議	P29	【こども政策】 こどもの教育	「施策の展開」の「2 いじめ・不登校などの対応」について、3つ目で「多様な学びの場や学び方を広げるとともに」に関し、学校園がこどもたちに合わない場という視点にならないかとの懸念があり修正したい。	意見を踏まえ、学校園を含め、こどもたちが安心して学ぶ環境を整えていくことが重要であることから、以下のとおり修正をする。 ●「多様な学びの環境や学び方を整えるとともに」
8	政策会議	P33	【活躍政策】 まちづくりの目標	まちづくりの目標の説明文で「魅力あるまちを創っていくことをめざします。」となっているが、他のまちづくりの目標において「～するまちをめざします。」となっており、統一するべきだと考える。	意見を踏まえ、以下のとおり修正をする。 ●「生涯を通じて互いに学び続けることができる、魅力あるまちをめざします」
9	政策会議	P53	【健康福祉政策】 まちづくりの目標	まちづくりの目標の説明文で、「誰もが心が健やかであり」となっているが、心だけが健やかだったら良い訳ではない。	意見を踏まえ、以下のとおり修正をする。 ●「誰もが健やかであり」
10	政策会議	P71	【くらしの基盤政策】 まちづくりの目標	まちづくりの目標の説明文で「災害の記憶を引き継ぎ国土強靱化に取り組む」の文章の流れが違和感がある。	意見を踏まえ、「引き継ぎ」とする表現については、コミュニティの形成など防災の施策を連想することから、以下のとおり修正をする。 ●「災害の記憶をもとに、国土強靱化に取り組む」